

たんぽぽ

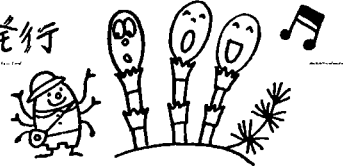
兵庫県養父郡養父町堀畑82番地の28

森 医 院

T667-01 電話(0796)65-0223

※43号

平成8年4月発行



病院訪問

十数年ぶり大雪であった。職員の中には子供たちの登校路を除雪し、まだ暗い雪道を出勤してくる者もいた。「先生、風邪をひかないように」とあべこべに励ましてくれる患者さんもいた。粘り強さと思いやりと優しさも教えられたこの冬である。

4月より『保険診療の取扱い』が改定された。2年後の『公的介護保険』を視野に入れたものであり、その中に2つの柱がある。1つは『在宅医療』の推進と、もう1つは『医療費の定額制』である。病院から患者さんを在宅へ追いやり、そして軽症にも重病にも支払われる医療費は同じになってしまうという仕組み。このままだと現在の老健施設のように「重病人はお断わり」ということになってしまうかもしれない。住専問題の張本人である大蔵官僚や、薬害エイズを引き起こした厚生省が決定するような『医療制度』には何も期待できないだろう。

さて話は変わるが森医院から八鹿病院に入院させていただいている患者さんは、内科・外科だけで常時約10名ほど。休診日などを利用して月に一度、入院患者さんの訪問を行っている。カルテを見せていただいたり、担当医と意見交換したりしたあと病室を訪問する。

とてもうれしいのは、退院を数日後に控え「こんなに良くなりました」とニコニコ笑顔で迎えてくれるときや、手術を受けまだ数日、ベッド上で苦しそうな表情をしていたのに私が訪れると、「先生の顔を見たらいつぱんに元気になったわ」と生き生きとしてくるとき。

だが癌末期の患者さんを訪れるとき、それも告知を受けていない場合とてもつらい。その病室だけ避けて通りたい気持ちになるが、医者になりたてのころ尊敬する恩師より次のように戒められたことを思い出す。「森君、順調に経過している患者など放っておいてもいい。経過の思われない患者や回診するのが気が重い患者ほど頻回に訪問しなさい」と。

病院訪問これからも続けたい。気が重い患者さんほど大切にあることをこころがけて。

院長

☘ テレフオンサービス ☘

0796(55)0151

6月のテーマ

- ① 妊娠したときの注意
- ② 大人のアトピー性皮膚炎
- ③ 心身症のはなし
- ④ 日本の医療費のしくみ
- ⑤ 床ずれを防ぐには

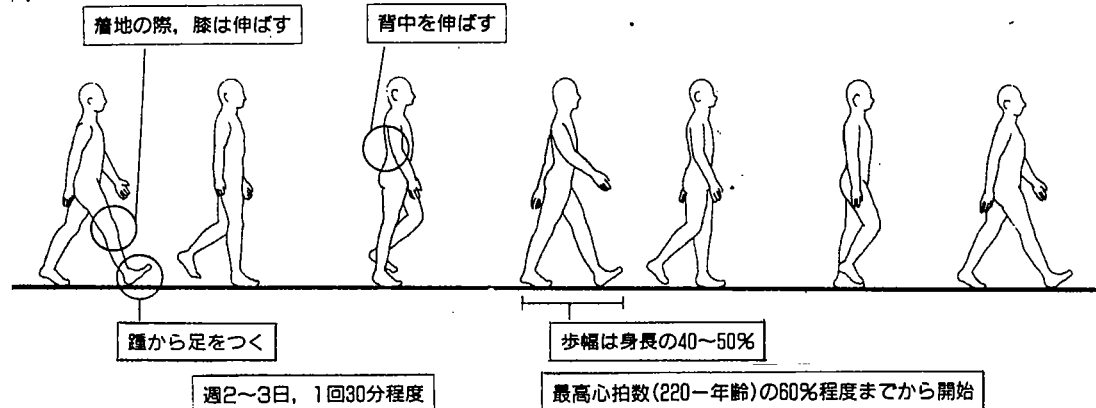
笑顔かな
心のな
春となり
ふれあい
ポツクヌ



正しいウォーキング



人間は、立って歩くことを身につけたにもかかわらず、歩かなくてもすむ世の中になってしまいました。そして現代人は、歩き方や歩く楽しさを忘れてしまった、と言っても過言ではないでしょう。日常生活をおくる上で基礎となる歩くということを日頃の生活の中でもお互いにもっとバガけてはどうでしょうか。



老人性痴呆

いったん完成された脳がさまざまな原因によって広く損傷を受け、そのため脳の理解力、判断力などが障害されて、社会生活、家庭生活にも支障をきたした状態を一般に痴呆とよんでいます。

原因からくる痴呆

・老人性痴呆(アルツハイマー型)



この痴呆は年をとるとともにふえてくることから、その根本に老化現象があることはまあ間違いないさそうです。それとともに痴呆をすすませる原因がいろいろありそうですが、その中でとくに重要なのは「脳の廃用性萎縮」であると考えられます。つまり手足の筋肉などをしばらく使わないでいると生気がなくなり、縮んできて(萎縮)、細くなります。同様に、生きがいをなくしたりして、一定期間ぼんやり脳を使わないでいると脳の萎縮がおこってくるのです。これを「脳の廃用性萎縮」とよびます。

・脳血管性痴呆

原因としては、高血圧、糖尿病など、動脈硬化と悪化させる疾患がまず問題になります。その様な疾患は脳を養ういろいろな動脈を狭くしたり、詰まらせたりして、脳への血液の流れを悪くする

ものです。もし、主幹動脈という大きな血管におこってそれが脳硬塞をおこすほどひどくなければ、脳全般の機能が低下し、痴呆とよばれる状態になるのです。(比較的若年の50~60歳代の方によくみられる型)

・痴呆も早期発見が大切です。そこでテストをしてみるのも一つの方法です。一度ためてみてはいかがでしょうか？

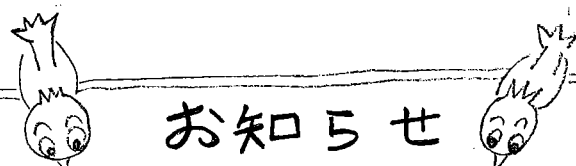
次のかな文の意味を読みとりながら、同時に「あ、い、う、え、お」をひろいあげて、○をつけてください。(制限時間2分間)

練習問題 ももたる(う)は、きじと(い)ぬとさるをけら(い)にして、(お)にがしまへ、おにた(い)じに(い)きました。

本題

むかし あるところに、ひとりぐらしのおばあさんがいて、としをとって、びんぼうでしたが、いつも ほがらかに くらしていました。ちいさなこやに すんでいて、きんじょの ひとの つかいはしりを やっては、こちらでひとくち、あちらで ひとのみ、おれいに たべさせてもらって、やっと そのひぐらしを たてていましたが、それでも いつも げんきで ようきで、なにひとつ ふそくはないと いうふうでした。

ところが あるばん、おばあさんが いつものように にこにこしながら、いせいそと うちへ かえるとちゆう、みちばたのみぞのなかに、くろい おおきなつぼをみつめました。「おや、つぼだね。いれるものさえあれば べりなものさ。わたしにや なにもないが。だれが、このみぞへ おとしてったのかねえ」と、おばあさんは もちぬしがいないかと あたりを みまわしましたが、だれも いません。「おおかた あなが あいたんで、すてたんだらう。そんなら ここに、はなでも いけて、まどにおこう。ちよっくら もつていこうかね」こういって おばあさんは つぼのふたを とって、なかをのぞきました。

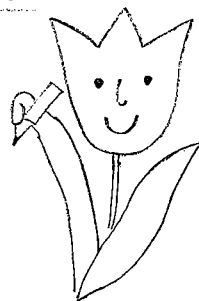


お知らせ

平成8年4月1日より診療報酬の改定が行われました。窓口負担のある方は負担金が少し変更になりましたので御了承下さい。尚、老人一部負担金1,010円から1,020円に変更になりましたので宜しくお願ひします。

編 ホカホカと暖かく日々過ごしやすい季節になりました。今回のたんぽぽはいかがでしたか？ご意見、ご感想、詩、短歌などありましたら受付横にあります「ふれあいボックス」までどうぞ。次回たんぽぽ7月発行になっていきます。

お楽しみに...



できましたか？
職 員 紹 介
西垣真寿美です。

開院と同時に勤務してはや10年、なじみの患者さんも多くなりました。尊敬できる先生と気のおけない仲間たち、そして理解のある家族にかこまれ、この10年はアツという間でしたが、とても充実していたように思います。今年は1人娘もピカピカの1年生。私も負けぬようにバと瞳はいつも新鮮でありたいと思っています。これから宜しくお願ひします。

最近忘れ物が多いので、靴・傘・服・鞆など自分の持ち物には名前を書いて下さいね。